



纏向遺跡で発掘された

古墳時代の犬を復元しました

わたしのなまえを
考えてね！



復元された犬の模型▲

卑弥呼といった犬！？ 纏向の犬

平成 27 年 1 月、纏向遺跡の発掘調査（第 183 次）で纏向の王の館の一部と考えられる 3 世紀前半の溝から、犬の骨がほぼ完全な形で発見されました。

これまでこの時代の犬の骨で状態のいいものはほとんど見つかっておらず、当時の犬の様子をより詳しく研究するため、発見された骨をもとに当時の姿を復元しました。復元した姿は足先から肩の高さが約 48cm、胸からお尻までの長さが約 58cm とやや胴が長く、現在の四国犬と同じような大きさです。体格は華奢でメスと考えられ、正確な年齢はわからないものの 1 歳半以上の若い犬と推定されています。

纏向遺跡は初期ヤマト王権発祥の地で、邪馬台国の有力な候補地でもあります。犬が生きていた時代は倭の女王「卑弥呼」が活躍していたところで、ここが邪馬台国だったとすれば、卑弥呼がかわいがっていた犬なのかもしれません。

復元した犬の模型を展示します

▶ 展示期間 9 月 28 日⑩まで

▶ 展示場所※¹ 市立埋蔵文化財センター

※¹ 6 月 2 日⑩～30 日⑩は、市役所 1 階地域交流センターに展示します。

▶ 入館料 一般 200 円（団体 20 人以上で 150 円）※²

※² 市内在住の人・中学生以下の人は無料です。

名付け親になりませんか

犬復元模型の完成を記念して、多くの人に親しまれるような愛称を募集します。採用された愛称を応募した人の中から、抽選で記念品を贈呈します。

▶ 応募方法（6 月 30 日⑩まで）

● 電子申請 右記二次元

コードから申し込み

● 応募用紙 応募用紙※に

記入し、応募箱※に投函

申し込みはこちら▲



※市立埋蔵文化財センター・市立図書館・市役所 1 階地域交流センターに設置しています。

● 郵送 はがきに住所・氏名・年齢・連絡先・愛称（ふりがな）・愛称を付けた理由を記入し郵送で下記申し込み先へ

▶ 結果発表

愛称の決定後、10 月初旬ごろに市ホームページなどで発表

詳細は市ホームページへ。

詳細はこちら▲



【申し込み・問い合わせ先】

纏向学研究センター（☎ 45 - 0590、〒 633 - 0001 大字三輪 686 芝運動公園内）